



いま、福沢諭吉を読む理由

校長 紙屋貴志

「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らずと言えり」。この言葉で始まる『学問のすゝめ』が世に出たのは、明治のはじめ。今から150年以上前のことです。社会の仕組みが大きく変わろうとしていた時代に、著者の福沢諭吉は「人は平等である」と高らかに宣言しました。

しかし同時に彼は問いかけます。なぜ現実には差が生まれるのか。その違いは何か。福沢の答えは、「学問」である、というものでした。ただしそれは、知識の量や試験の点数のことではありません。自分の頭で考え、自ら判断し、責任をもって行動する力を養うこと。それこそが学問の本質だと説いたのです。

いま私たちは、かつてないほど多くの情報に囲まれて暮らしています。便利で豊かな時代である一方、自分の考えを持つことの難しさも感じます。流行や周囲の評価に心が揺れ動くこともあるでしょう。だからこそ福沢が説いた「精神の自立」は、いっそう重みを増しているように思われます。

彼の思想は、「一身独立して一国独立す」という言葉に集約されます。一人ひとりが自立してこそ、社会もまた健全に歩むことができる。子どもたちが学ぶ意味は、単に進学や将来の職業のためだけではありません。自分の足で立ち、他者を尊重しながら、主体的に社会に関わっていく力を育てることにあります。

本校では、日々の授業や行事、地域との関わりを通して、子どもたちが自ら考え、対話し、挑戦する姿勢を育んでいきたいと考えています。知識を得るだけでなく、その知識をどう生かすかを問い続ける学びを大切にしたいのです。

150年前の言葉は、決して過去の名言ではありません。変化の激しい時代を生きる私たちに向けられた、静かな励ましでもあります。子どもたちが「カラリと明るい独立心」を胸に、それぞれの未来へ歩み出せるよう、地域の皆様とともに支えてまいります。

今後とも、本校教育へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(参考図書：齋藤孝著、NHK「100分de名著」ブックス 福沢諭吉 学問のすゝめ)

授業参観・学年末PTA

2月5日(木)に、授業参観および学年末PTAを実施しました。今回の授業参観では、全学級で担任による**道徳の授業**が行われました。

1年生の学級では、教材に登場する人物に「母親」が含まれていたこともあり、保護者の方々も話し合いの輪に加わり、生徒たちと一緒に意見を交わす場面が見られました。生徒たちが意見を出し合う様子はとても印象的で、この1年間の成長の跡が感じられました。

2・3年生の学級でも、担任が保護者の方々に意見を求める場面があり、それに応じて保護者が自分の考えを述べると、生徒たちからは「お〜」という感嘆の声が上がるなど、普段の授業とはまた違った、貴重な学びの時間となったようでした。

本校のような少人数の学校では、さまざまな価値観や考え方に触れる機会が限られがちですが、保護者の皆様と一緒に学び合うことで、多様な視点に触れることができ、生徒たちにとっても大変有意義な時間となりました。

その後、各学級に分かれて学年末PTAが行われ、1年間の成長や今後の課題について、保護者と教職員が意見を交わす貴重な時間となりました。御参加ありがとうございました。



夢授業

2月16日(月)、**夢授業**が行われました。キャリア教育の一環として、今回は嘉渡にお住まいで、**伊勢丹**に長年勤務されていた**松元公博**さんをお招きし、現在も伊勢丹で御活躍中の奄美出身・**重田麻帆**さんにもオンラインで御参加いただき、講話をしていただきました。

特に、松元さんが中国の伊勢丹で社長を務められていた経験談は、生徒たちにとって大きな驚きと感動を与えたようです。また、百貨店の仕事についても知ることができ、新たな視点や知識を得る機会となりました。重田さんの「**中学生の頃から将来を焦って決めなくても大丈夫**」という言葉に、安心した生徒も多く、将来への考え方に前向きな変化が見られました。



性といのちの授業

1月30日(金)、やどりぎ助産院の**藤真理**さんをお招きし、「性といのちの授業」と題した講義を行っていただきました。講義では、二次性徴から性感染症に至るまで、性教育の幅広い内容を2時間にわたって丁寧にお話しいただきました。特に、プライベートゾーンや性的同意といった、中学生が正しく理解しておくべき重要なテーマについては、動画などを活用しながら分かりやすく説明していただき、性犯罪の加害者にも被害者にもならないための大切な心構えを教えていただきました。

家庭や学校では、子どもたちに伝えたいと思っても、なかなか言葉にしづらい性教育について、今回の講義はとても貴重な学びの機会となりました。



読書活動奨励表彰式

1月24日(土)、龍南中学校で**自由研究発表会**と**町読書活動奨励表彰式**が行われました。

昨年度は推薦者を出すことができず、少し悔しい思いをしていましたが、今年度は、読書好きで、日頃から生徒のために図書室に本をそろえてくださる**本校校長**の強い後押しもあり、**森風晴**さんを推薦することができました。

読書は心を豊かにし、知識の土台を築く大切な営みです。これからも読書を通して、自らの世界を広げていってほしいと思います。風晴さん、本当におめでとうございます。



3月の主な行事

- 4(水) 公立高校入試(～5日)
- 9(月) 卒業式予行
- 11(水) 第78回卒業式
- 12(木) 公立高校合格発表
- 24(火) 小学校卒業式
- 25(水) 修了式、辞任式



★校内では、「仰げば尊し」などの卒業に向けた練習の歌声がきこえてきて、なんとなく切ない気持ちになります。荒波地区の皆様、ぜひ一緒に、卒業生の門出を盛大に祝いましょう!